

2020年 月 日

入林・採集許可申請書

旭川市 土木部 公園みどり課 様



下記の内容で、入林及び採集の許可をお願い致します。

期 間 2020年4月1日～2020年7月30日

目 的 旭川市内の自然公園の生態学的な調査を行う。春植物の訪花昆虫について調査し、とくに受粉状況をデータ化する。
とくに突哨山については、観光客の数が少ないエリアを選びトラブルを避けるものとする(詳細別添)。
神楽岡公園では、ツツジなどの植え込み内のタンポポを調査し、ツツジの観賞などには干渉が起こらないものとする。

場 所 神楽岡公園、突哨山、地図別添

車両ナンバー 旭川 300 は 71-54 (今村)
旭川 583 い 3-04 (中山)
旭川 533 ろ 11-30 (工藤)

所属・職 北海道教育大学 旭川校 理科教育専攻 生物学教室・准教授

氏 名 今村 彰生

入林者名簿 (計 6 名)

今村 彰生	(代表、指導教員)
工藤 慎悟	(学部4年生)
山崎 萌	(学部4年生)
布施 菜々子	(学部4年生)
中山 優太	(学部4年生)
越田 未都紀	(学部4年生)

電話 直通 : 0166-59-1314

携帯電話 : 090-7759-8634

e-mail : ginryou715@yahoo.co.jp

突哨山での研究計画

従事者：今村彰生および指導学生

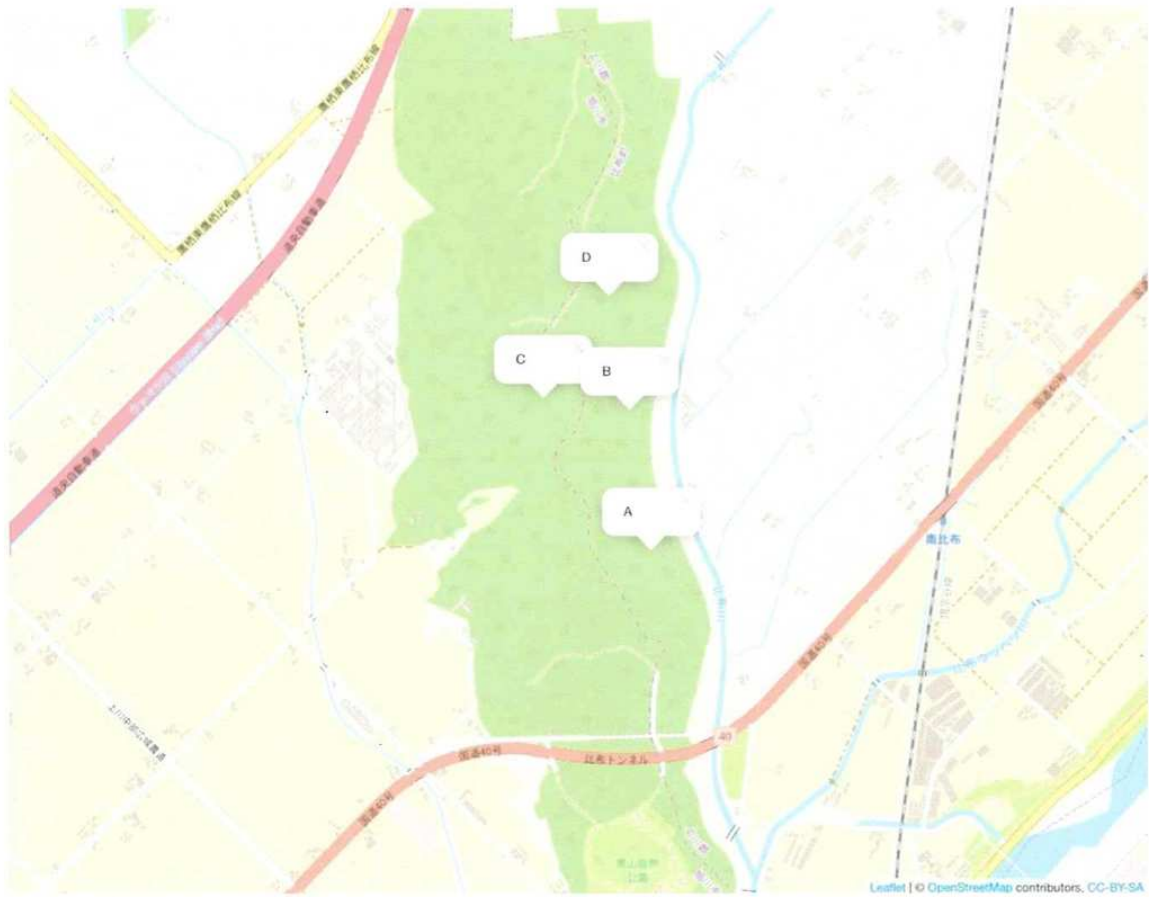
対象植物：カタクリ、エゾエンゴサク

概要

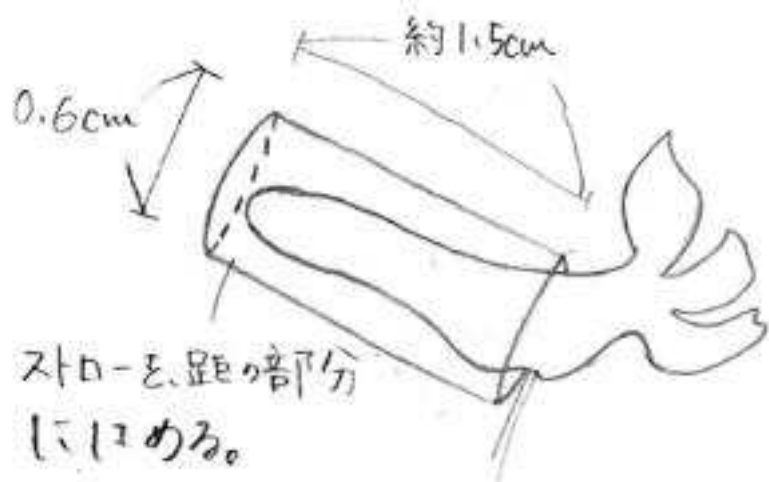
- 区画調査により、セイヨウオオマルハナバチの訪花と盗蜜の実態を定量把握する。
- 大区画を1ヶ所設置し、そのなかに5 m × 5 mの区画を8ヶ所設置する。
- 8ヶ所のそれぞれについて、訪花の調査を実施するが、植物の採集は実施しない。
- 植物の一部の個体について、盗蜜防止処理（花筒へのストローがけ）を施す。
- 開花期間中の継続観察を実施し、盗蜜による種子生産への影響を定量化する。
- 盗蜜防止処理（花筒へのストローがけ）の有効性を検証する
- 開花期間中、訪花昆虫の観察を1日1区画あたり1時間ずつ実施する。採集は原則として実施しない。

生物相などへの配慮

- 区画外の生物に影響を及ぼさないよう、定められたルート以外に立ち入らない。
- 対象生物以外には手を触れない。
- 調査区画は、市民、観光客などの目に触れない位置に設置し、無用のトラブルを回避する。



エゾエニゴサク



カクワリ

